

安 全 宣 言

今年で 93 回目となる全国安全週間は、昭和 3 年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な理念の下、「労働災害を防止するために産業界での自主的活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられています。

この間事業場では、労使が協調して労働災害防止対策が展開されてきました。この努力により労働災害は長期的には減少しているが、令和元年の建設業の労働災害において、「死亡災害」は前年を 13%を下回る見込みで、「休業 4 日以上
の死傷災害」もわずかですが 1.2%とわずかに下回る見込みであるものの、死傷災害のうち、60 歳以上の労働者が占める割合は増加傾向にあり「13 次労働災害防止計画」における目標達成に向けては、更なる取り組みが求められる。

また、少子高齢化に伴う労働者不足や健康寿命に伴う労働年齢が延伸し、高年齢労働の活用状況も変化しております、高齢労働者の安心と安全を確保できる職場環境が求められます。

このような状況を踏まえ、更なる労働災害の減少を図ることを決意して、本年度のスローガンである、

「エイジフレンドリー職場へ、 みんなで改善 リスクの低減」

を基本に、次の 3 つの事項を重点的に実施します。

1. **建設工事に従事する作業者の安全衛生教育等の徹底。**
2. **作業者の安全意識の高揚。**
3. **指差し呼称を徹底し、より安全性の高い措置の実施。**

以上、三つの事項の徹底を図り、全会員一丸となって労働災害撲滅を期する事をここに宣言する。

令和 2 年 8 月 7 日

富 山 県 空 調 衛 生 工 事 協 同 組 合

防災・安全委員長 吉枝 貴之